

2017

# 知財戦略会議

- 企業とアカデミアの協働によるイノベーションの推進 -

## セッションⅡ

### 進歩するイノベーションエコシステム

### 産学連携・ベンチャーの育成・起業支援

2017.5.18

セッションモデレータ

弁護士・鮫島正洋

# セッション骨子

## 本プログラムウェブサイトより

さらなる知的創造サイクルの形成とイノベーションの活性化に向けて、企業、大学等の研究機関およびベンチャー企業の間では、**グローバルなネットワークの強化**が急速に進んでいる。本セッションでは産学の研究開発戦略と双方の補完関係を精査した上での最適パートナーとの**マッチングの重要性とその手法**につき議論する。また、事業計画に最適な資金調達につき、ベンチャーキャピタル、ファンドの観点でも検討する。

- **自前主義の研究開発・事業開発 vs 研究機関やベンチャーなどの外部リソースを活用した開発**
- 必要なリソースをもった研究開発のベストパートナーを見つけるには
- 知財力を梃にした資金調達・アライアンス
- ベンチャーに積極投資で技術・製品のリーダーシップを確実にする**企業のベンチャーキャピタル部門**
- 最大限のパフォーマンスとwin-winの結果をもたらすために留意すべき事項

14:10-15:25 (75min)

### 【モデレーター】

鮫島 正洋(弁護士法人 内田・鮫島法律事務所 パートナー)

### 【スピーカー】

檜木 達也(京都大学 エネルギー理工学研究所 准教授)

若宮 淳志(京都大学 化学研究所 准教授)

山澤 勉(オムロン株式会社 知的財産センタ長)

川名 弘志(KDDI株式会社知的財産室長)

# 産学連携からオープンイノベーションへ イノベーションの創出主体と事業化主体が分離すること



大学・ベンチャー企業＝イノベーションネタの供給  
大企業＝ブランド、量産力、販売ネットワーク、マーケティング力  
(両者は本来補完し合う関係にある(例:米国))



- ・「Team Japan」で成果を収めた大企業・中小企業に対する表彰制度
- ・ベンチャー企業・大企業の人事交流の促進制度

## 【経済産業省】事業会社と研究開発型ベンチャー企業の連携のための手引き(初版)

→ 本日14:00公開!!!

[http://www.meti.go.jp/policy/tech\\_promotion/venture/tebiki.pdf](http://www.meti.go.jp/policy/tech_promotion/venture/tebiki.pdf)

(経済産業省によるリード文)

大企業などの事業会社にとっては、従来の自前主義から脱却し、新規事業開発等において研究開発型ベンチャー企業の技術と成長力を取り込んでいくこと、そして研究開発型ベンチャー企業にとっては、自社のコア技術を大企業が持つ販路やマーケティング等のノウハウの助力を得て、より大きなビジネスへとつなげていくことが必要となっています。

しかしながら、我が国は未だにオープンイノベーションの取組、特に事業会社と研究開発型ベンチャー企業による連携が上手く進んでいない現状にあります。このような問題意識から、経済産業省は、このたび、事業会社と研究開発型ベンチャー企業の連携の実態や課題、先行事例等をアンケートやヒアリングを通じて調査し、産業界、学术界などの専門家の協力を得て分析を行い、事業会社・ベンチャー双方に役立つ手引き(自己診断シート入り)としてとりまとめました。

今後、本手引きの活用によって、事業会社と研究開発型ベンチャー企業両者の相互理解が深まり、オープンイノベーションの活性化により、次々とイノベーションが生まれ、我が国の産業競争力の強化に繋がっていくことを期待しています。

日本再興戦略2016より抜粋

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/pdf/2016\\_hombun1.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/pdf/2016_hombun1.pdf)

●時代は大きく変わろうとしている。変革を恐れず新たな成長の途みちを目指すのか、世界の先行企業の下請け化の途を取るのか。日本は今、歴史的な分岐点にいる。こうした変革の時代を乗り越え、成長軌道に乗せ、日本を世界で最も魅力的な国とする。そのための羅針盤が、日本再興戦略2016である。

それではセッションスタートです！

技術法務で日本の競争力を実現するー弁護士法人内田・鮫島法律事務所

[samejima@uslf.jp](mailto:samejima@uslf.jp) / 03-5561-8550

## オムロンヘルスケア 山澤様からの問題提起

話題1 : 企業側から見て、オープンイノベーションを成功させるポイントは何か？

- ・ 仲間を募るための「花とミツバチ」作戦について説明する
- ・ さらに、トランザクションコストのミニマム化も考慮すべきである

話題2 : オープンイノベーションとして注目すべき領域は？

- ・ オムロンでは、4つの注力領域を定めている
- ・ また、重要な経営資源である「センシングデータ」の活用にも力を入れる

話題3 : 新規参入が増えてきている健康医療事業が伸び続けている理由は？

- ・ 競争のルールが違う。コア技術よりもビジネス上の重要な要素がある
- ・ そのため、巨大企業であっても参入障壁が高い

話題4 : データの取り扱いについて、どう取り組んでいるか？

- ・ SDTMに力を入れている。これは、オムロンのセンシングデータ活用が目的
- ・ データをクローズするかオープンにするかは、いくつかの類型がある